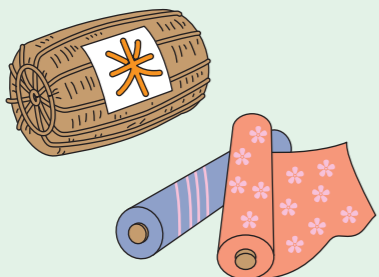


日本の税の歴史は怎么样了の？

飛鳥・奈良時代

租・調・庸

大化の改新ののち、租・調・庸の3つの税が定められ、いねや布などを納める税の制度ができました。



安土桃山時代

太閤検地

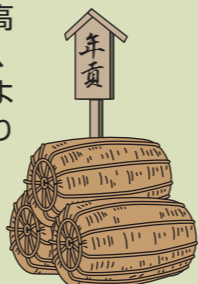
豊臣秀吉は、全国の田畑の広さを測り、収穫や作物のとれ高に応じて年貢を定めました。



江戸時代

年貢

税金のほとんどを年貢がしていました。江戸時代中ごろになると、作物のとれ高にかかわらず、一定の率による年貢となりました。



明治時代

地租改正

明治6年、全国の土地を測量して土地の値段を決め、その3パーセントを税として、土地の持ち主に現金で納めさせました。



所得税

明治の中ごろ、土地にかかる税金から、1年間の所得の額に応じて税金を決める所得税中心の税制に変わりました。



国民の三大義務

戦後の昭和21年に新しい憲法ができ、
①子どもに教育を受けさせる義務
②勤労することの義務
③国民みんなが税金を納める義務の三大義務が定められました。



昭和時代

現代(平成)

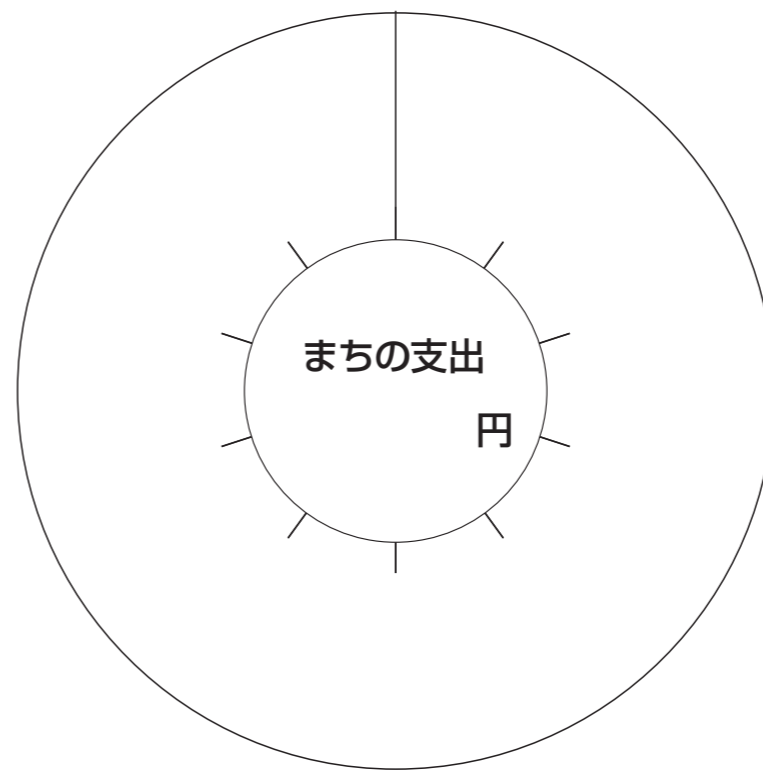
消費税

平成元年に、品物やサービスの取引にかかる消費税がつけられました。平成9年には、地方消費税がつけられました。



自分のまちでは、どのように使われているの？

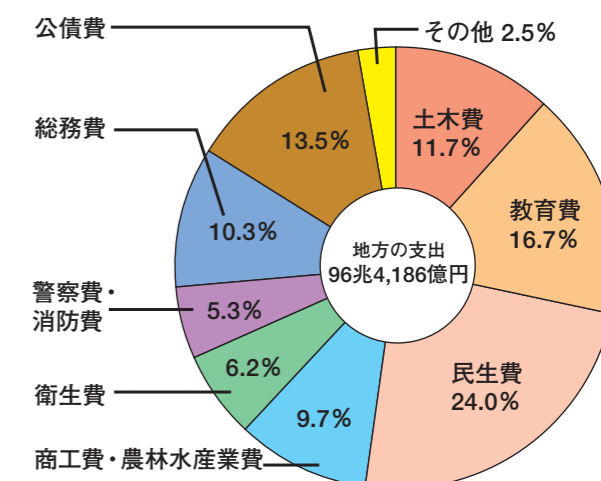
◆自分のまちの予算を調べよう



調べ方

- ホームページ
- Eメール
- 役所への取材
- 広報紙
- FAX
- TEL
- その他

記入例



ことばの意味

- 【土木費】 道路の整備やまちづくりのために
- 【教育費】 教育のために
- 【民生費】 福祉の充実のために
- 【商工費・農林水産業費】 中小企業や農林漁業を助けるために

- 【衛生費】 健康を守るために
- 【警察費・消防費】 警察や消防のために
- 【総務費】 事務を総合的に運営するために
- 【公債費】 地方債を返したり、利子を支払うために



◆自分のまちについて考えてみよう

●興味をもったり不思議に思ったこと。

●まちをもっと良くするにはどうしたらいいでしょうか。